

「水素エネルギーを体験しよう」

- 実施日時 令和3年2月14日（日）
15時00分～16時00分
- 実施方法 Zoomを使用したオンライン開催
- 受講者数 定員：親子15組、小学校教員10名（先着）
受講申込者：親子30組（子35名）、教育関係2名
当日参加：親子22組（子28名）、教育関係1名



□実施内容

（講師）公益財団法人東京都環境公社 総務部経営企画課 鈴木晴絵（ハルソン）

1 SDGsってなあに？～地球でいま起こっていること～

- SDGsの概要説明

2 水素ってなあに？

- 水素に関するクイズや実験を通して、水素の性質を理解する。
- 水素はどうやって利用するのか。燃料電池の紹介。



（講師のハルソン先生）

3 水素社会になると、どんないいことがあるの？

- 化石燃料は使用時に二酸化炭素が出て地球温暖化の原因となるが、水素エネルギーは使用時に水しか出ない。水素を作る時には、再生可能エネルギーを使用するなど、二酸化炭素を出さない工夫が必要。
- 化石燃料は量に限りがあるが、水素は無限に近い。
- 水素を燃料にした燃料電池自動車の紹介
- 燃料電池自動車に外部給電器を使えば、外でのイベントや災害時などでも電気が使える。燃料電池自動車1台で、家庭1週間分の電気をつくることができる。
- 燃料電池自動車に水素を入れる水素ステーションの紹介
- 水素社会は、環境にやさしい社会、災害に強い社会



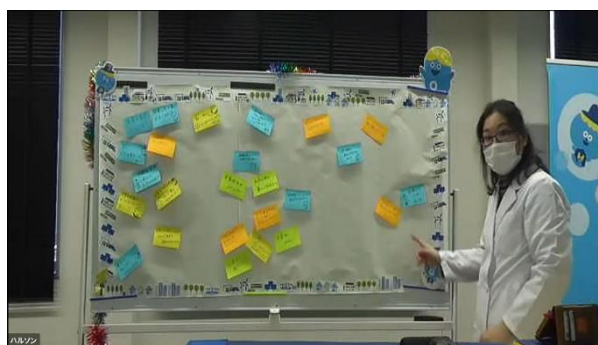
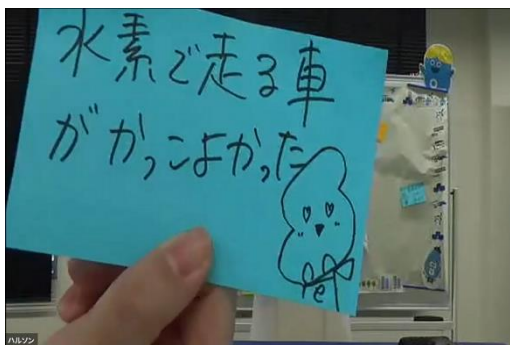
（水素シャボン玉実験）



（災害時にも役に立ちます）

4 グループで話そう

・Zoom のブレイクアウトルーム機能を使用し、5グループに分かれて、今日の感想・初めて知ったこと・質問・自分の考えなどを、発表していただきました。各グループにスタッフが参加して進行するとともに、参加者のご意見を付せんにご書き、皆様に紹介しながら模造紙に貼って、共有しました。



わかったこと	感想	良いなと思ったところ	その他	質問
水素が軽いということがわかった	電気のキャラクター(エレレ)がかわいかった	水素で走る車を初めて見た	SDGsのことは知ってた	なんで水素ステーションが東京に21か所しかないの？
水素と酸素で電気ができる	シャボン玉が燃えてびっくりした	環境に良いからこれから便利になると思う	温暖化のことは知ってた	今は21か所だけど、これからもっと増えていくよ。車が増えるのが先か、ステーションが増えるのが先か...というところですよ。
水素は無限に存在するエネルギー	水素を使う暮らしが広がっている	水素で走る車がかっこよかった	まだ燃料電池バスを見たことがない	水素は環境にいいのにどうしてまだ普及していないの？
SDGsのことがよくわかった	クイズが難しかった	水素自動車は水しか出さないのすごい！	水素のシャボン玉は燃えるのに水素の自動車は燃えないの？	水素は様々なエネルギーの1つで、これからもっと身近になっていくよ
外部給電器は前からあったの？				燃料電池で電気を作って動いているからだよ
				水素自動車が普及し始めた5年前くらいからあります

(グループでの話し合いで出た参加者の皆さんの感想)

5 東京スイソミルの紹介

・東京スイソミル：目に見えない水素のこと、水素社会の将来像を、見てさわって体験しながら楽しく学べる総合的な学習施設



目に見えない水素のこと、水素社会のしょう来ぞうを、見てさわって体験しながら楽しく学べる そう合的な学習しせつです。

ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

江東区潮見にある水素情報館「東京スイソミル」にも、水素社会を体験しに、ぜひいらしてください。